

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活科】

1. 対象（実施を想定する学校・子供の実態の概要）

今回授業を実施するのは、小学校2年3組、男子16名女子13名の学級である。明るく活発な児童が多く、授業中や休み時間には、友達と関わり合いながら楽しそうに過ごしている。一方で、自分の意見を書き出したり、考えを相手に伝えたりすることには、抵抗感を感じている児童も多い。今回の授業研究で、「対話と思考」を軸に学習することで、個の意見をもつことができることを期待する。

2. 単元（題材）名「生きものともだち」（全10時間）

3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	ダンゴムシを育てる活動を通して、友達と一緒にダンゴムシの世話をしながら、その成長の喜びを味わい、ダンゴムシも自分たちと同じように命があり、成長していることに気付いている。
思考力、判断力、表現力等	ダンゴムシを育てる活動を通して、ダンゴムシの住みやすい環境を整えて、世話を工夫したり、わからないことを相談したりしながら、自分たちで工夫して活動している。
学びに向かう力、人間性等	ダンゴムシの世話をしたり育てたりする活動を通して、生きものを自分たちと同じように命があるものとして大切にしようとしている。

4. 本時の目標

ダンゴムシのすみかを作る活動を通して、ダンゴムシの特徴に着目し、ダンゴムシにとって住みやすいすみかとはどんなものか考え、作っている。

5. 授業展開【**本時**・単元（題材）】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

ダンゴムシが住みやすい家を作るには、どんな家にしたらいいかな。

考えるための材料		
前時までに調べておいた、ロイロノートに集めた資料	土、石、枝、落ち葉等の材料	近くの席の友達の作るすみか
想定される活動		
・ダンゴムシは石の下に隠れるんだったね。 ・エサは、落ち葉や石だった。 ・暗いところが好きって書いてあるよ。	・いちばん下には土を敷かないと。 ・どの大きさの石を置こうかな。 ・落ち葉をたくさん入れたら、たくさん食べてくれるかな。	・〇〇さんの家は、隠れるところがいっぱいあって、住みやすそうだな。 ・△△さんの石の置き方を真似してみようかな。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

(1) つかむ (5分) 材料を提示する。本時の学習問題を確認する。

(2) ふかめる (20分) 対話と思考①【個人の中での対話・思考】

前時までに調べた資料をまとめたロイロノートの画面を見ながら、ダンゴムシのすみかには何が必要か考える。実際に材料を見ながら、自分のダンゴムシのすみかに必要な物を選ぶ。

「隠れるところが必要だから、石と落ち葉を入れよう。」「土を敷いて、ふかふかにしてあげよう。」
「エサは何だっけ、ロイロノートを見てみよう。」

対話と思考②【友達との対話・思考】

友達と一緒に席で活動することで、自然に友達との対話を生み出す。

「〇〇さんの家は、隠れるところがいっぱいあって、住みやすそうだな。」「△△さんの石の置き方を真似してみようかな。」「◇◇さん、なんでそうやって枝を置いているの？」

(3) まとめる (20分) 対話と思考③【全体での対話・思考】

タブレットで自分の作ったすみかを撮影する。撮影した写真に、コメントを書いたり、説明を録音したりして、ロイロノートの提出箱に提出する。提出した人から、提出された友達の作ったすみかの写真を見る。

「〇〇さんの家は、置いた石の形を工夫したんだね。」「△△さんの家、住みやすそうだね。」「みんなに『すごいね』って言われて嬉しかったよ。」

学習の成果（予想される子供のあらわれ）

実際に材料を手にとることで、ダンゴムシのすみかのイメージを膨らませることができる。ダンゴムシの特徴を考え、材料を選んでいる。早くダンゴムシを捕まえて、作ったすみかで飼いたいという思いをもって活動している。